



# まちの駅ニュース

人と人の出会いと交流をサポートする  
まちの情報発信基地

## 1. 富山県まちの駅連絡協議会が正式結成

4月3日(日)、富山県黒部市のまちの駅「ぼえむふるさと・謙信の湯」(生地温泉たなかや)で、「富山県まちの駅連絡協議会」の結成総会が開催されました。昨年9月の「まちの駅全国フォーラム in 富山」の実行委員会をベースに組織されたものを正式結成し、連携活動がスタートしました。

富山県内には富山市、黒部市、高岡市にまちの駅ネットワークがありますが、それらが連絡をとって相互応援しようというものです。県単位の連絡協議会は、鹿児島、沖縄、愛媛に続いて4番目になります。

伏江努会長は挨拶の中で、人との出会いの重要性を強調されました。富山県内外での人との出会いにより、様々な「コト」づくりが広がっていくことが期待されます。



## 2. 鹿児島県まちの駅連絡協議会が創立 10 周年

6月1日(水)、鹿児島県まちの駅連絡協議会では創立10周年を記念して、式典&講演会を開催しました。記念講演では、地元出身の落語家の桂竹丸さんが、鹿児島の良かところを面白おかしくお話されました。

鹿児島県のまちの駅は、国交省の調査事業として平成15年~16年度に仮設実証実験が実施され、それが継続されたものです。1年の準備期間において、18年に県全体のまちの駅ネットワークが誕生し、10年間で131駅になりました。次の10年に向けて、新たなスタートです。懇親会も盛り上がりました。



## 3. 俳句 de あらかわ名所づくりが開催

あらかわ区まちの駅ネットワークでは、「俳句 de あらかわ名所づくり」を開催しました。開催期間は5月14日~9月14日までで、その間に4回の「俳句の吟行まち歩き」を実施しました。下町情緒あふれる荒川区を徒歩で散策しながら、俳句を捻り出してもらいます。

あらかわ区まちの駅ネットワークは2009年に発足し、現在は37駅あります。荒川区を「人のまち」と位置づけて、良いところを育てる企画を行っています。本イベントはその一環として行われたもので、9月14日までに331句が投句されました。その中から、荒川区俳句連盟の佐々木忠利会長が選者になって56句を選出し、12月27日からの1カ月間、荒川区のラッピング都電の車内に掲載されます。



## 4. まちの駅まつり&かぬまんかラリーGO!が開催

まちの駅数103駅を誇る「まちの駅ネットワークかぬま」では、毎年スタンプラリーを開催しています。専用台紙にスタンプを集めると賞品が進呈されます。

9月18日(日)にはキックオフイベントとしてウォークラリーを実施。あいにくの雨模様でしたが、まちの駅を訪ねながら、ガイドによる鹿沼市の歴史や文化の説明。途中、鶴龜驛(つるかめえき=蓬萊町やぶそば)で紹介された古い写真に写っている電灯が今も電柱に残っていたり、東京のイベントに出展するための彫刻屋台の解体現場に遭遇したり、楽しい「まちの駅巡り」となりました。



## 5. 地域活性化とまちの駅講演会

8月6日(土)、佐賀県小城市にて「地域活性化とまちの駅講演会」が行われ、久住時男会長が講演しました。次いで、小城市の江里口秀次市長と久住会長による首長対談、さらに市民との質疑応答へと進みました。

本講演会は、昨年の「まちの駅九州・沖縄会議 in ふくおか」に参加した馬場由紀子さんの強い要望により実現したものです。馬場さんは見附市まで直談判に赴き、まちの駅のメンバーからも歓待を受けたそうです。帰りに、都内の「あらかわ区まちの駅ネットワーク」の小林清三郎代表とも懇談、まちの駅本部事務局にも立ち寄っていただきました。



## 6. まちの駅全国フォーラム in TOKYO&地域交流センター40周年交流会

9月30日(金)~10月1日(土)の日程で、第19回まちの駅全国フォーラム in TOKYO を、代々木のオリンピック記念青少年総合センターで開催しました。初日は総会の後に、藤田とし子氏より「市民参加で作るまち歩きマップ」と題して基調講演。市民参加のマップ作りとは、地域の中に潜んでいる「感動の原石」を掘り当てて、自ら磨いて、来訪者に手渡す作業。まち歩きマップから地域を元気にする各地の事例を紹介いただきました。

2日目にも、マップづくりの基礎を学ぶワークショップを行いました。いろいろな「感動の原石」を出し合い、報告し合いました。もう一つのプログラムは、明治神宮管理部の田中昌之氏案内による明治神宮の散策。神宮の森は100年前に人工的に作られた鎮守の杜ですが、今では自然の宝庫です。

引き続いて、1日の午後からは「全国まちの駅連絡協議会」の事務局を務める地域交流センターの「40周年交流会」が開催されました。40年の歩みを振り返った後、4つのテーマで「トーク&ディスカッション」。第1テーマ「まちの駅の全国展開/駅ネットワーク」では、吉田恵子氏(まちの駅ネットワークとちぎ)、赤崎隆三郎氏(沖縄まちの駅連絡協議会)、鯉江康正氏(越後長岡まちの駅/長岡大学)、大倉久直氏(健康の駅推進機構)の4名が登壇し、まちの駅に関わるキッカケやそれぞれの取り組みを報告しました。創業者の田中栄治の業績を確認する場にもなりました。



## 7. 第32回全国トイレシンポジウムに健康の駅もエントリー

第32回全国トイレシンポジウムは、「パブリックデザインとトイレ」をテーマに、11月12日(土)に、都内の日本大学理工学部で開催。その「グッドトイレ選奨」に、岐阜県白川町の健康の駅「健遊館美濃白川」がエントリー、野尻眞院長が「臭わないトイレの新提案~前方傾斜5度男子小便器の発明~」の発表を行いました。日本のトイレ文化水準の向上を目指した独自の提案です。

健康の駅である白川病院では、住宅政策として「健遊館」を整備。健康サロンとして、介護予防教室、レクリエーション、園芸療法、音楽療法、スポーツ大会(テニス、剣道、ゲートボール)などを開催しています。

惜しくも入選は逃しましたが、いろいろな人に健康の駅を知ってもらい、交流の輪を広げる機会となりました。



## 8. まちの駅ネットワーク加美が発足

宮城県加美町と色麻町に11のまちの駅が誕生し、12月13日に、キーステーションとなる「加美ステーション」で認定証の授与式が行われました。加美商工会のコミュニティービジネス創出事業で検討した中で、「まちの駅」を設置して、両町が連携して観光や物産のPRを推進し、地域活性化につなげようというものです。駅長対象のまち歩きツアーなど、今後取り組む事業を検討していく予定です。皆さんの応援、よろしくお願い致します。



## 9. まちの駅レポート…行儀見習が行く

9月22日から10月1日まで、事務局に跡見学園女子大学の学生2名がインターンに来てくれました。まちの駅全国フォーラム in TOKYO の準備や運営業務のほか、全国まちの駅連絡協議会の“行儀見習”の名刺を持って、都内のまちの駅の取材もしましたので、レポートを紹介します。

### ①い草かおる駅

#### 1. やっていることは変わらない

荒川区西尾久の住宅街の中で畳屋を営みながら「まちの駅」をしている渡辺康一さんは、生まれてから荒川区を離れることなく、荒川区の変化を見守り続けてきました。町会長や理事、委員長などを務めており、頂いた名刺の裏からは荒川区との関わりの深さ、お話からは荒川区を大切にする気持ちが伝わってきました。

昔はご近所づきあいも多く、「まちの駅」という制度がなくても同じようなことをしていたため、まちの駅となった今もやっていることは変わらないそうで、店の前を何度も行き来している“困っていそうな人”には自ら声をかけに行くようです。また、「い草かおる駅」を利用する人の中には、近所の人に「畳屋さんならわかると思うから行ってごらん。」と言われてくる人が多いそうです。

高齢化しているといわれている荒川区ですが、最近では建て売りの家に子どもがいる家族が移り住んでくることが増え、若い人が増えてきたと感じるそうです。



#### 2. 荒川区の子育て

「い草かおる駅」に行くまでに通った住宅街で感じたことは「子どもがたくさんいる」ということでした。町会では子どものイベントをたくさん開催しており、10月のハロウィンには子どもたちを連れてまちの中を歩くイベントがあるそうです。イベント開催にあたって渡辺さんが必ず子どもたちに伝えることがあります。それは、「大人になってもここに住んで次は君たちが同じことをしてほしい、まち全体で子どもを育ててほしい」。今だけではなく次の世代にも続けてほしいという想いです。子どもの居場所がなくなり家にこもってゲームばかりする時代にも、西尾久には子どもの居場所と理想の子育ての形がありました。

勝又稜夏（跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科2年）

### ②GO!GO!都電の駅

#### 1. 地方と東京

「都電荒川線から約徒歩3分以内の場所にある「GO!GO!都電の駅」。まちの駅の駅長を務めている濱田正人さんは小さな農家・小さな工場を応援したいという思いから、まちの駅を始めたそうです。

「GO!GO!都電の駅」は熊本地震によって熊本では売れなくなってしまった商品を東京で販売しています。看板商品のヨーグルトは、ヨーグルトだけを求めて遠方からやって来る人も多くいる人気の商品です。しかし、今年の夏日本を直撃した台風10号の影響でヨーグルトの製造・出荷ができず販売ができなくなっている状況です。他にも地元の方々に好まれていた野菜も不作により出荷ができず、今ではまちの駅としての営業難だと頭を抱えていました。地方で起こった災害による被害は東京にはないと思っていましたが、実際東京で地方での災害によって苦しんでいる人を目の当りにして、密接な関係があるのではないかと考えさせられました。



#### 2. 多様な役割

気軽に休憩できるような雰囲気なので、利用者は地元の方だけでなく都電荒川線に乗って来る観光客の方、外国人の利用も多くみられるようです。いろいろな言語に対応されたパンフレットもあり外国人の方にも利用しやすいまちの駅だと思います。また、駅から徒歩数分なのでまちのプチ観光案内所、休憩スペース、商品をお店で食べることができるイートインスペースがあり、まちの駅として多様な役割を果たしているまちの駅です。

星野那奈（跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科2年）

## 10. 琉球・江戸・蝦夷観光物産フェスタ 2016 を開催

11月25日(金)、26日(土)、東京都江戸川区のパル・プラザショッピングセンターで、「琉球・江戸・蝦夷観光物産フェスタ 2016」を開催。「まちの駅物産連携」ということで、沖縄や愛媛、北海道のまちの駅から物産を集めて販売しました。天気は良かったものの北風が厳しく、人出は少な目でした。集合住宅に囲まれた小松地域でも高齢化が進んでおり、一人暮らしのおばあさんが買い物に寄ってくれました。



### 新規まちの駅のご紹介

(平成 28 年 3 月から 12 月までの加盟駅)

都道府県	市町村	まちの駅名	
宮城県	加美町	まちの駅ネットワーク加美 (11 駅)	
		・加美ステーション	
		・おかし駅	
		・中新田スポーツの駅	
		・宮崎スポーツの駅	
		・小野田スポーツの駅	
		・347号 加美町 燃料の駅	
		・まちの駅 小野田	
		・やくらい駅	
		・愛車の給油処の駅	
色摩町	・文具の駅		
	・新鮮やさいの駅		
村田町	たまゆらの郷 町の駅姥神		
新潟県	長岡市	越後ながおかまちの駅 (2 駅)	
		・ほたる焼きとせんべい 薪ストーブの駅	
		・まちの駅 JAZZ 楽	
	見附市	まちの駅ネットワークみつけ (3 駅)	
・洋食の駅			
・接骨・整骨の駅			
・げんきの駅			
富山県	富山市	富山観光創造会議 (2 駅)	
		・アピアショッピングの駅	
		・割烹の駅	
	高岡市	まちの駅ネットワーク高岡 (1 駅)	
・万葉の駅 高岡市万葉歴史館			
魚津市	語りべとお菓子の駅		
福井県	勝山市	まちの駅ネットワーク勝山 (1 駅)	
		・お食事でおもてなしの駅	
福島県	福島市	まちの駅ネットワークふくしま (6 駅)	
		・まちの駅 波来湯	
		・まちの駅 パルセいいざか	
		・まちの駅 旧堀切邸	
		・まちの駅 四季の里	
		・信夫山ガイドセンター	
		・まちの駅 SAORI	
		伊達市	ネットワーク伊達 (1 駅)
			・ケーキの駅 アリュメット
	栃木県	宇都宮市	まちの駅ネットワーク宇都宮 (1 駅)
・まちの駅寿限無餃子工房			
埼玉県	本庄市	まちの駅ネットワーク本庄 (3 駅)	
		・ヌメ革で作る革小物の駅	

都道府県	市町村	まちの駅名
	本庄市	・今すぐ旅に出たくなる駅
		・蛭とカタクリの里の駅
東京都	青梅市	まちの駅 青梅
岐阜県	笠松町	笠松町まちの駅 (2 駅)
		・ママ・ベビーの駅
		・ちよつとひとやすみの駅
愛知県	武豊町	味の蔵 たけとよ
	安城市	まちの駅 Alt
	刈谷市	ビレッジステーション
三重県	尾鷲市	まちの駅ネットワーク尾鷲 (1 駅)
		・おふくろの味の駅
和歌山県	高野町	高野山まちの駅 (1 駅)
		・光海珈琲 高野山本店
広島県	竹原市	まちの駅ネットワークたけはら (5 駅)
		・まちの車の駅
		・道の駅たけはら
		・たけはら海の駅
	・食の駅 朱輪フジ竹原店	
・町並みの駅		
	呉市	まちの駅しま café きたたに
		まちの駅 きしな
福岡県	粕屋町	かすや まちの駅ネットワーク (1 駅)
		・まちの駅「レスポアール久山」
	豊前市	豊前まちの駅ネットワーク協議会 (14 駅)
		・いとおかし駅
・ぶぜんフルーツランドの駅		
・求菩提山麓 パン・蕎麦の駅		
・古民家の町屋醤油の駅		
・ゆ〜たり の〜んびり 風の駅		
・JA 豊前ふれあい市の駅		
・1113の駅		
・やまぼうしの駅		
・紙の駅		
・セブンイレブン豊前四郎丸の駅		
・ファミリーマート豊前警察署前の駅		
・シューの駅		
・うどんの駅		
・まずはここからの駅		
宮崎県	高鍋町	たかなべまちの駅 (1 駅)
		・でんりよくの駅

#### 編集後記

元経企庁事務次官で、まちの駅連絡協議会相談役を務めてくださった糠谷真平さんが、平成 28 年 11 月 27 日に急逝されました。享年 75。五全総の中で「地域連携軸」というキーワードを発想され、連携拠点としての「まちの駅」を応援くださいました。千厩での全国フォーラムが、まちの駅メンバーとの最後の交流会でした。ご冥福をお祈りいたします。(は)

#### 全国まちの駅連絡協議会事務局

(NPO 法人地域交流センター内)

東京都千代田区東神田 1-7-10 KIビル 3F

TEL03-5823-4190/FAX03-5823-4191